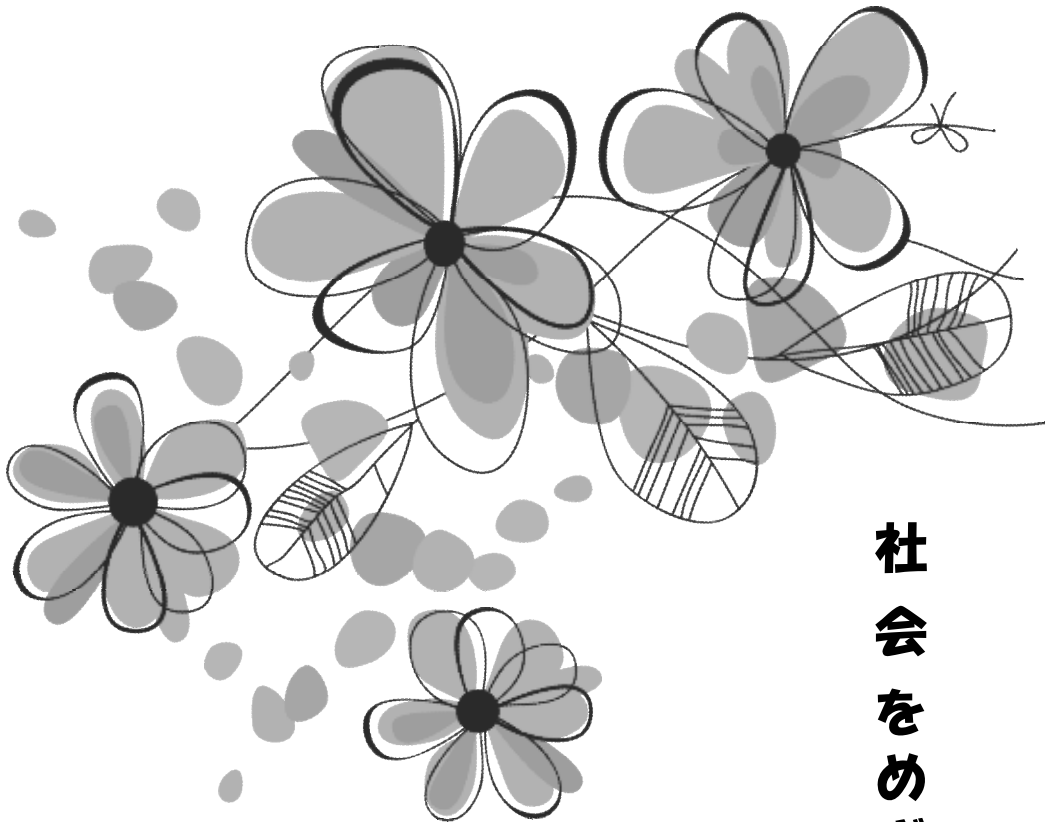


まい・ゆあ・せるふ

市民の皆さんに、市の男女共同参画の取り組みについて知ってもらいたい、男女共同参画を身近なものとして感じてもらいたいという思いを込めて発行しています。

Vol. **3**
2014.6



誰もが心豊かに暮らせる

社会をめざして…

Contents

- ♣ 男女共同参画関連マーク
- ♣ 平成 25 年度 フォーラム・講座報告
- ♣ 男女共同参画・多文化共生ルーム情報
- ♣ 相談窓口のご案内

Let's Try

知っている
マーク
ありますか？

男女共同参画 関連マーク

誰もが性別にとらわれずに、自分の能力や個性を生かしていける男女共同参画社会の実現に向けて、啓発活動やキャンペーンなど、あらゆる取組みが行われています。そして、それを「推進」「PR」するために、いろいろなシンボルマークやロゴマークが作られています。あなたが知っているマークはありますか？

次の問題にチャレンジしてみてください！！

Q 1~6のマークは何のマークでしょうか？A~Fの中からそれぞれ選んでください

(答えは4ページ下部)

1



カエル! ジャパン
Change! JPN

2



3



4



5



6



A

次世代認定マーク(くるみん)

子育てしながら働きやすい環境を整備している“子育てサポート企業”として、厚生労働大臣から認定を受けた企業に与えられるマーク。現在約1,800社が認定を受けている。

B

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

DV やストーカー、セクシュアル・ハラスメントなど、女性に対する暴力が数多く起こっており、その女性への暴力の問題に対して、社会における認識を深めてもらうためにつくられたシンボルマーク。

C

ポジティブアクション普及促進のためのシンボルマーク

固定的な性別役割分担意識や過去の経緯から、女性管理職が少ないなど、男女間に生じている差を解消するために自主的・積極的に行う取組みのことをポジティブ・アクションという。その普及促進のためのシンボルマーク。

D

イクメンプロジェクト
ロゴマーク

社会全体で、男性がもっと積極的に育児に関わることが出来るように、ホームページでの情報発信やイベントなどの取組みを行っている活動をイクメンプロジェクトという。その活動のシンボルとなるマーク。

E

「カエル! ジャパン」
キャンペーンのシンボルマーク

個人や企業、公的機関など、社会全体でワークライフバランス(仕事と生活の調和)の実現を目指す運動を「カエル! ジャパン」キャンペーンという。そのシンボルとなるマーク。

F

男女共同参画シンボルマーク

誰もが性別にかかわりなく、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会実現に向け、男女が互いに尊重しあい、共に歩んでいけたらという願いが込められたシンボルマーク。

八木早希が語る！出会いのすばらしさ

講師：八木 早希 さん（フリーキャスター）

男女共同参画
フォーラム



海外での生活や、キャスターの仕事をとおして実感された出会いのすばらしさについて講演いただきました。

ご自身の体験をもとに、今までの出会いで受けた影響、人との関わりで大切にしていること、今後の抱負などについて語られ、「多くの人との出会いによって、自分の可能性や世界観が広がったり、新たなつながりが生み出されたりします。何歳になっても出会いを大切にしてください」と話されました。

明るく親しみやすい関西弁でお話しされ、とても楽しい講演会でした。

＜参加者の声＞

☆人との出会いがこれからの人生の始まりになること、又、それで自分の世界が広がる・・・いろんな刺激をもらいました。

☆八木さんの幼少期から現在までのお話を聴いて、人との関わり方や配慮について大変参考になりました。

☆マイノリティーな八木さんの生き方に感動しました。もっと個性を認め、自分を主張できる社会が必要だと思いました。

7/17
開催

男女共同参画推進
講座

私らしくいたい！～ハッピーライフへの道しるべ～

＜気づき編＞

開催日 9/30・10/7・10/22

自身と向き合い、新たな気付きを得ることで、自分らしさを見つめるきっかけづくりとすることを目的として開催しました。

全3回のうち、興味のある講座を受講していただきました。第1回では、自分の体をいたわる大切さや体と心は密接につながっていること、疲れを解消する手軽な体操を。第2回では、断捨離の概念やモノを捨てられない理由、実践して起こる気持ちの変化など。第3回では、母娘問題の原因・特徴や母娘関係が問題となる理由、母との良好な関係の築き方を学びました。



＜参加者の声＞

☆女性のカラダとココロが社会の影響を受けていることがよくわかった。

☆今使っている「モノ」は自分のセルフイメージとつながるという言葉が印象に残りました。

☆母は母、娘は娘、それぞれの人生を大切にしたいと感じます。

＜深める編＞

開催日 11/26・12/3・12/17

世の中に存在しているジェンダーに気付いて自分の問題として捉え、ジェンダーにとらわれない自分らしい生き方を見つめ直すことを目的として開催しました。

家事や育児など、日常で無意識のうちにジェンダーにとらわれてしまっていることに気付くグループワークを行い、ジェンダーにとらわれない生き方について考えました。そして、生き方や日常生活の様々なことは、自分で選択できるということ、選択する大切さについて学びました。

＜参加者の声＞

☆男女共同参画を目指すのにとっても大切な自分自身と向き合うことをしっかり考える時間になりました。

☆自分で選択することの大切さに気付きました。後悔しないように自分で選択していこうと思いました。



＜実践編＞

「コミュニケーション講座」

開催日 3/7・3/14・3/28

自分らしさを表現するために、自分も相手も尊重しながら、気持ちや考えを相手に伝えられるようになることを目的として開催しました。

コミュニケーションで気を付けたいことや、コミュニケーションには受け身的表現、攻撃的表現、自他ともに尊重するアサーションの3つの表現があることを学びました。そして、アサーションの理解を深めた後に、実際にアサーションを使ったコミュニケーションを練習しました。



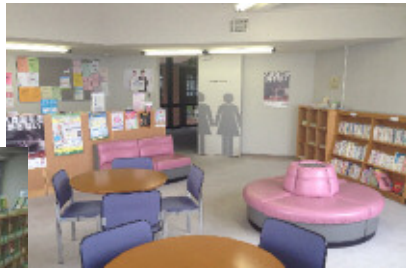
＜参加者の声＞

☆アサーションという言葉をはじめて聞きました。考え方の道筋を教えてください、自分の気持ちを相手に伝える練習に励もうと思っています。

☆アサーション挑戦していきます。今までと違う自分探しをしたいです。

男女共同参画・多文化共生ルーム

フリー
スペース



■どなたでも自由にご利用いただけます■

□図書の出しをを行っています□

場所 パープルホール（市民総合会館本館）3階
開設時間 9時～17時（木・日・年末年始除く）

グループ相互の交流、情報交換、少人数での打ち合わせなどにご利用いただける自主活動のスペースがあります。

男女共同参画に関する情報や国・地方自治体が発行する資料を提供しています。

図書の紹介

「被災ママ812人が作った子連れ防災手帖」

出版社：メディアファクトリー つながる.com 編



東日本大震災で被災したママの体験談をもとに、子どもを守るために必要な対策をまとめた、子連れのための防災本。

想定外では済まされない…そのときあなたは、どうやって子どもを守りますか？子どもを持つ人に読んでほしい1冊。

「私は私。母は母。～あなたを苦しめる母親から自由になる本」

出版社：すばる舎 加藤 伊都子 著



母との関係に苦しむ娘は少なくありません。母とうまく距離をとることで、自分自身の人生を幸せに生きていい。母と同じように苦しむ必要はない。

娘が母から解放され、幸せになる具体的な方法を紹介し、娘の背中を押ししてくれる1冊。

人権悩みの相談室

ひとりで悩まないで相談してください

女性の人権に関する悩みなど、暮らしのなかで起こるさまざまな人権に関わる問題を専任の女性相談員がお聞きします。誰にも話せず、どこに相談していいのかわからないと悩まれている方は、ぜひお気軽にご相談ください。

【日 時】毎週月・火・水・金・土曜日
午前9時～正午 午後1時～午後4時

【場 所】パープルホール（市民総合会館本館）3階
男女共同参画・多文化共生ルーム内 相談室

TEL
072-939-1118

*電話、面接のどちらでも相談できます
*秘密は厳守します

ちょっと知識

ジェンダー・ギャップ指数とは？

毎年「世界経済フォーラム」から発表され、世界各国の経済、教育、健康、政治の4分野のデータから出される、男女の格差を表すものさしです。

2013年、日本は136か国中105位。女性国会議員や女性管理職・専門職など「指導的地位に女性が占める割合」が少なく、経済と政治の分野で男女の格差が大きいことが、順位が低迷している要因となっています。

政府では、さらなる女性の活躍を促進するため、2020年までに女性管理職の割合を30%にすることを目標にしています。そのためには、女性のみが仕事と家庭の両立を迫られるのではなく、家庭や職場などあらゆる場面で、男女が対等とともに協力し合う社会であることが必要です。

編集

発行

藤井寺市民生活部市民協働・人権推進課 *****2014年6月発行*****
〒583-8583 藤井寺市岡 1-1-1
TEL：072-939-1059 FAX：072-952-8981 E-mail：kyoudou-jinken@city.fujiidera.osaka.jp